

能勢町介護保険事業所アンケート
報告書(案)

第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて

令和5(2023)年8月

能勢町

目次

(1) 調査概要.....	1
(2) 調査結果.....	1
問1 貴事業所の経営形態についてお答えください.....	1
問2 貴事業所が主として実施しているサービスはどれですか.....	1
問3 貴事業所の所在地を教えてください.....	2
問4 貴事業所の職種ごとの従業員数について、人数をご記入ください.....	2
問5 貴事業所の従業員について、年齢構成をご記入ください.....	3
問6 貴事業所の職種ごとの従業員の過不足の状況について、どのようにお感じですか.....	3
問7 貴事業所が従業員を確保するにあたり、どのような取組をされていますか.....	4
問8 問7で○をした取組のうち、効果のあった取組はどれですか.....	4
問9 貴事業所の利用者からの利用申込への対応はどうですか.....	5
問10 貴事業所の経営状況はいかがですか.....	5
問11 介護人材の確保・育成で、どのようなことを町に取り組んでほしいですか.....	6
問12 第9期介護保険事業計画期間中の、貴事業所の事業運営の方向性についてお答えください.....	7
問13 能勢町で事業を実施する際の課題は何ですか.....	8
問14 能勢町で不足していると感じる介護保険サービスは何ですか.....	9
問15 これからの高齢化社会に向けてどんな取組が必要だと思われますか.....	10

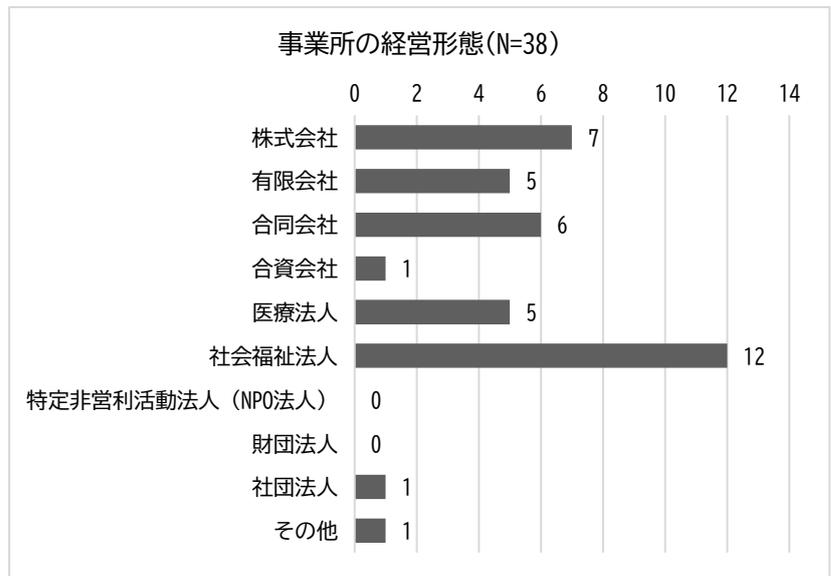
(1) 調査概要

	能勢町内	能勢町外	計
対象事業所	16	48	64
有効回答数	13	25	38
有効回答率	81.3%	52.1%	59.4%

(2) 調査結果

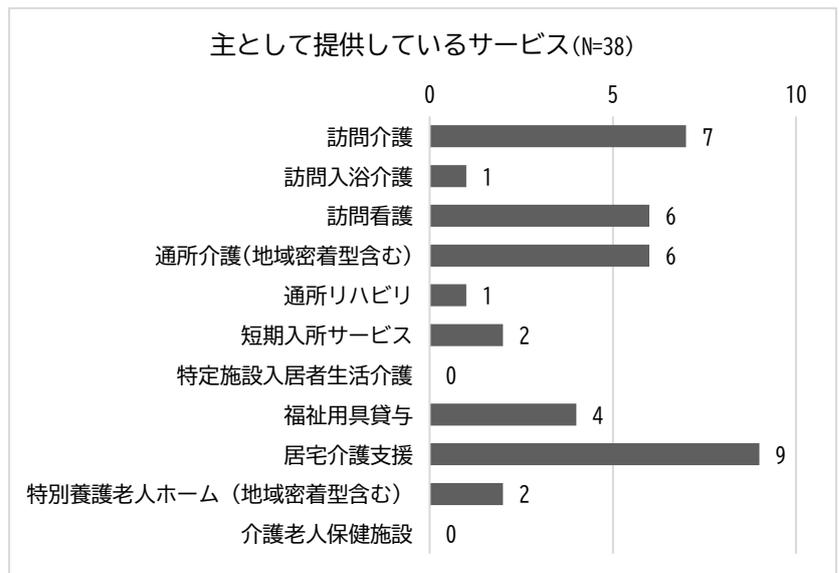
問1 貴事業所の経営形態についてお答えください

「社会福祉法人」が12事業所でもっとも多く、「株式会社」が7事業所、「合同会社」が6事業所、「有限会社」「医療法人」が共に5事業所の順になっています。



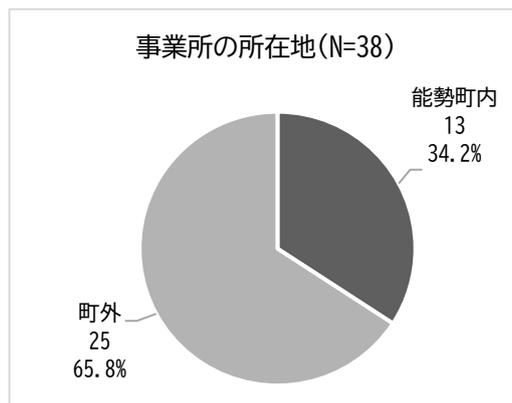
問2 貴事業所が主として実施しているサービスはどれですか

「居宅介護支援」が9事業所ともっとも多く、「訪問介護」が7事業所、「訪問看護」「通所介護(地域密着型含む)」が共に6事業所、「福祉用具貸与」が4事業所の順になっています。



問3 貴事業所の所在地を教えてください

「能勢町内」が13事業所(34.2%)、「町外」が25事業所(65.8%)となっています。

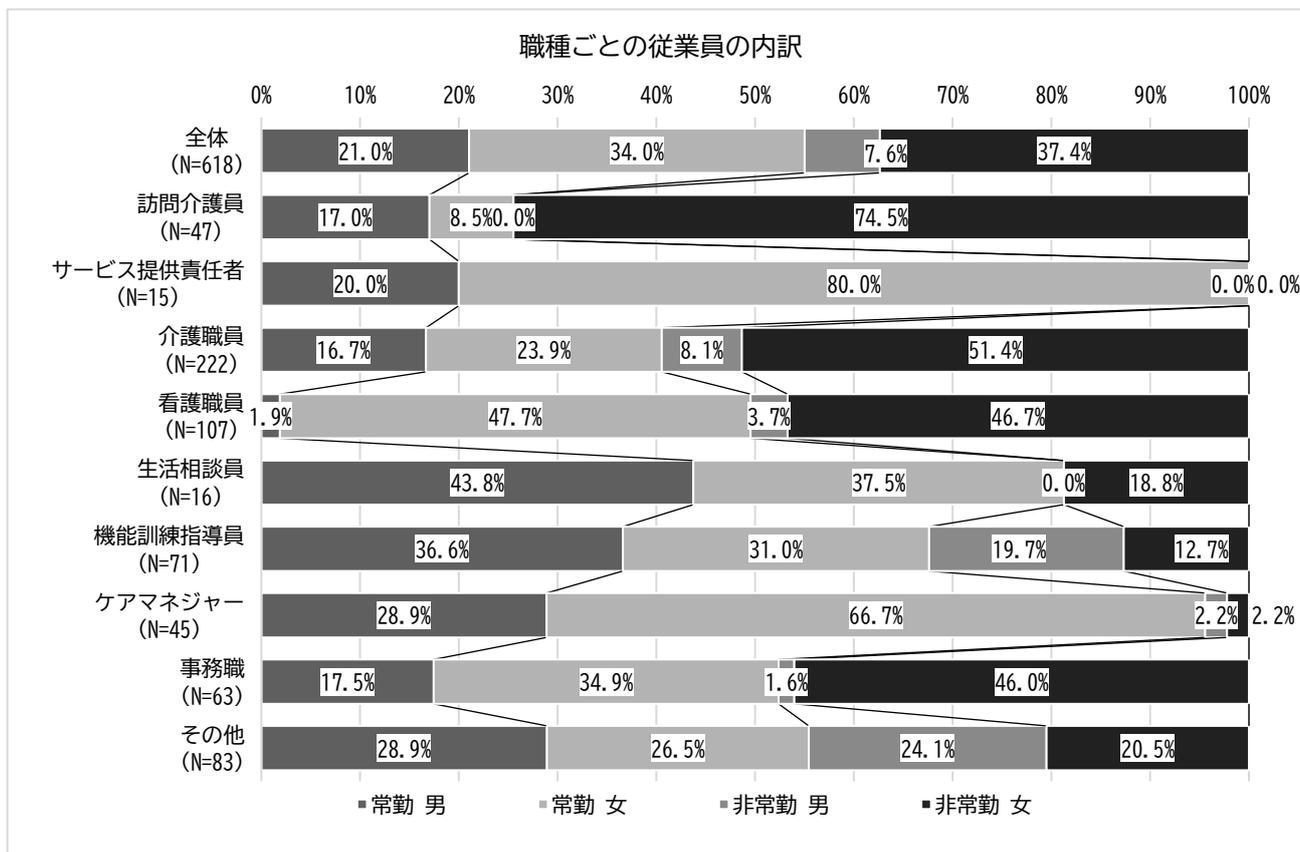


問4 貴事業所の職種ごとの従業員数について、人数をご記入ください

全従業員618人の内、「常勤」は「男」21.0%と「女」34.0%を合わせた55.0%、「非常勤」は「男」7.6%、「女」37.4%合わせた45.0%となっています。

従業員数の多い職種の内訳を見てみると、「介護職員」は222人の内、「常勤」は「男」16.7%、「女」23.9%を合わせた40.6%、「非常勤」は「男」8.1%、「女」51.4%を合わせた59.5%、「看護職員」は107人の内、「常勤」は「男」1.9%、「女」47.7%を合わせた49.6%、「非常勤」は「男」3.7%、「女」46.7%を合わせた50.4%、「機能訓練指導員」は71人の内、「常勤」は「男」36.6%、「女」31.0%を合わせた67.6%、「非常勤」は「男」19.7%、「女」12.7%を合わせた32.4%となっています。

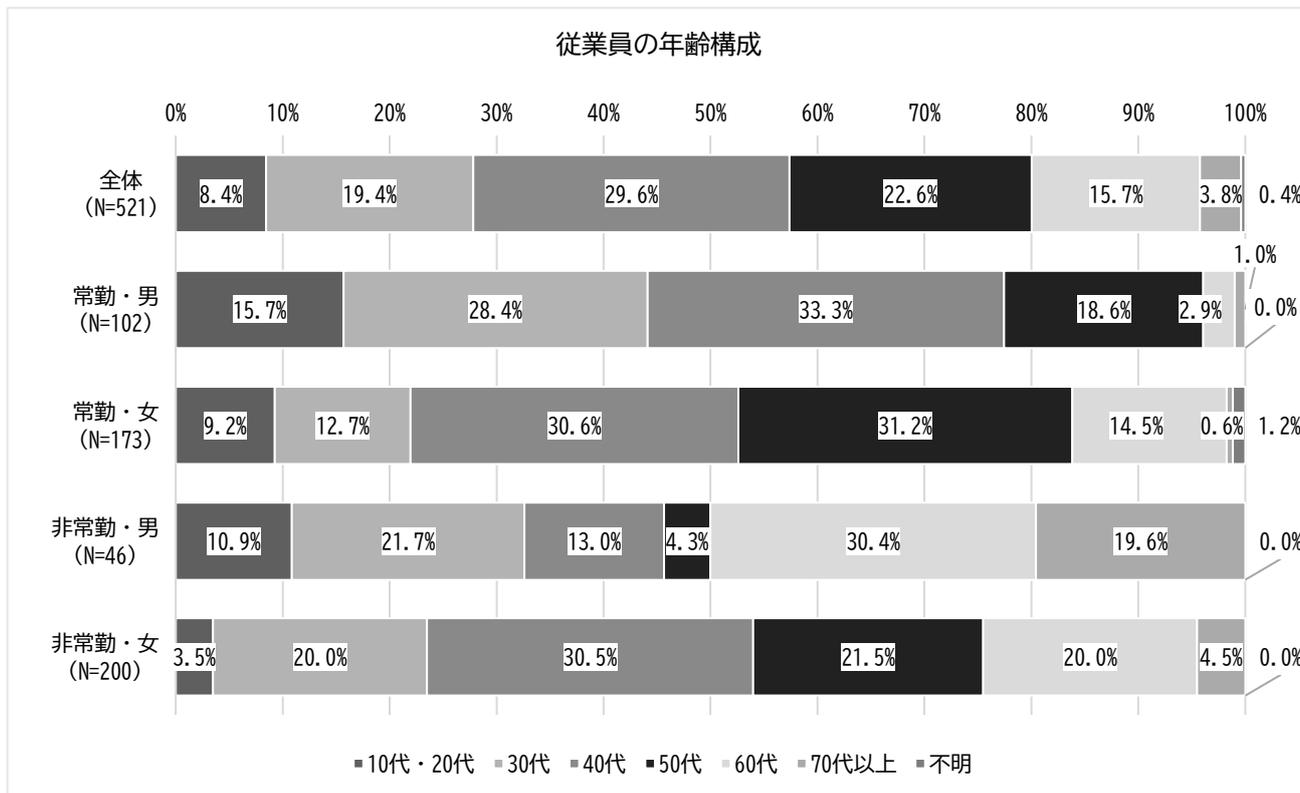
また、「サービス提供責任者」「ケアマネジャー」「生活相談員」は常勤率が高く、「介護職員」「訪問介護員」は常勤率が低い状態が見られます。



問5 貴事業所の従業員について、年齢構成をご記入ください

「従業員全体」では「40代」が 29.6%と最も多く、「50代」が 22.6%、「30代」が 19.4%、「60代」が 15.7%の順になっています。

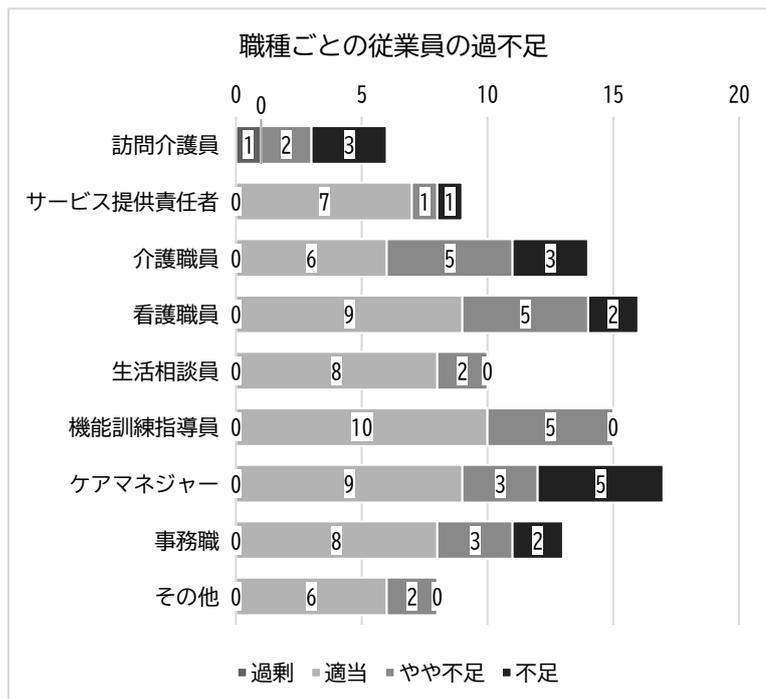
また、「常勤・男」では「40代」が 33.3%、「常勤・女」では「50代」が 31.2%、「非常勤・男」では「60代」が 30.4%、「非常勤・女」では「40代」が 30.5%と最も多くなっています。



問6 貴事業所の職種ごとの従業員の過不足の状況について、どのようにお感じですか

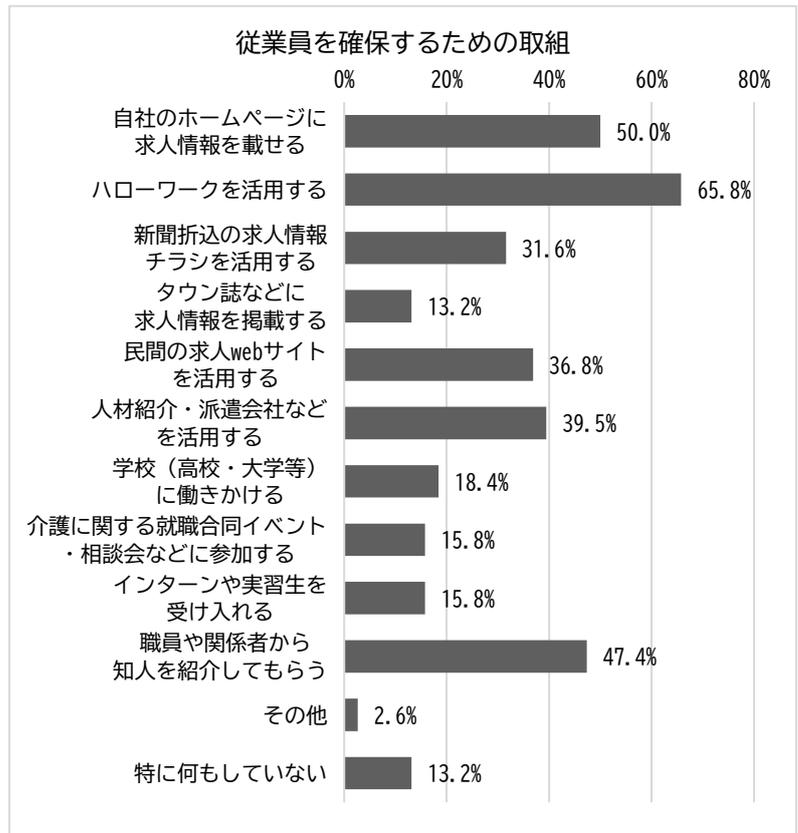
「訪問介護員」は「過剰」が1事業所、「不足」が3事業所となっています。

「やや不足」も含めた「不足」が多い順に職種を並べると、「介護職員」「ケアマネジャー」が共に8事業所、「看護職員」が7事業所、「機能訓練指導員」「事務職」が共に5事業所、「サービス提供責任者」「生活相談員」「その他」が共に2事業所となっています。



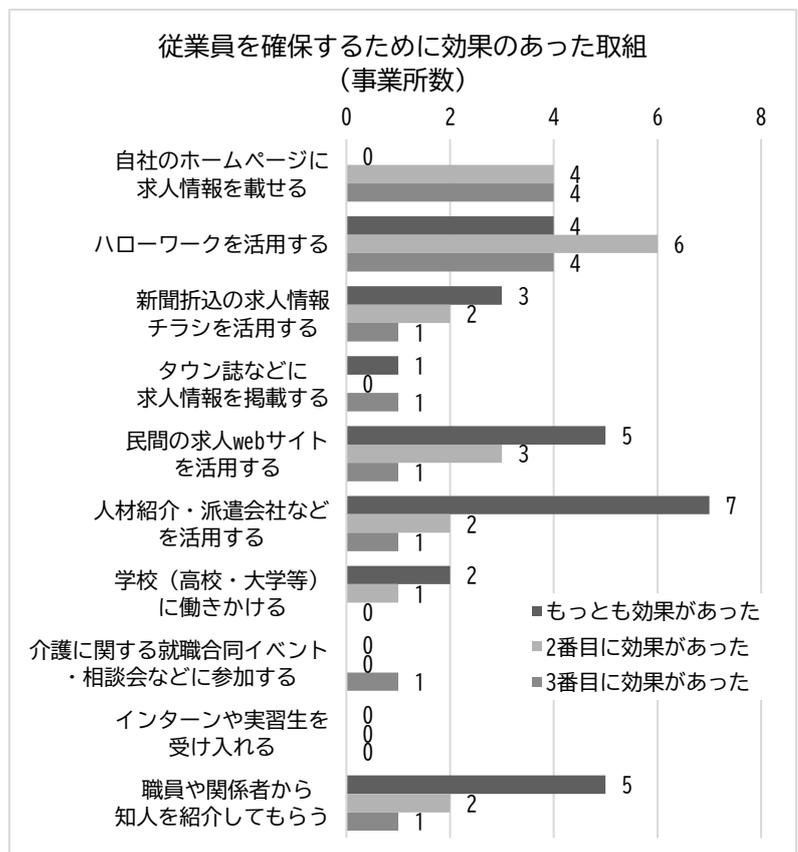
問7 貴事業所が従業員を確保するにあたり、どのような取組をされていますか

「ハローワークを活用する」が25事業所(65.8%)でもっとも多く、「自社のホームページに求人情報を載せる」が19事業所(50.0%)、「職員や関係者から知人を紹介してもらおう」が18事業所(47.4%)、「人材紹介・派遣会社などを活用する」が15事業所(39.5%)、「民間の求人webサイトを活用する」が14事業所(36.8%)の順になっています。



問8 問7で○をした取組のうち、効果のあった取組はどれですか

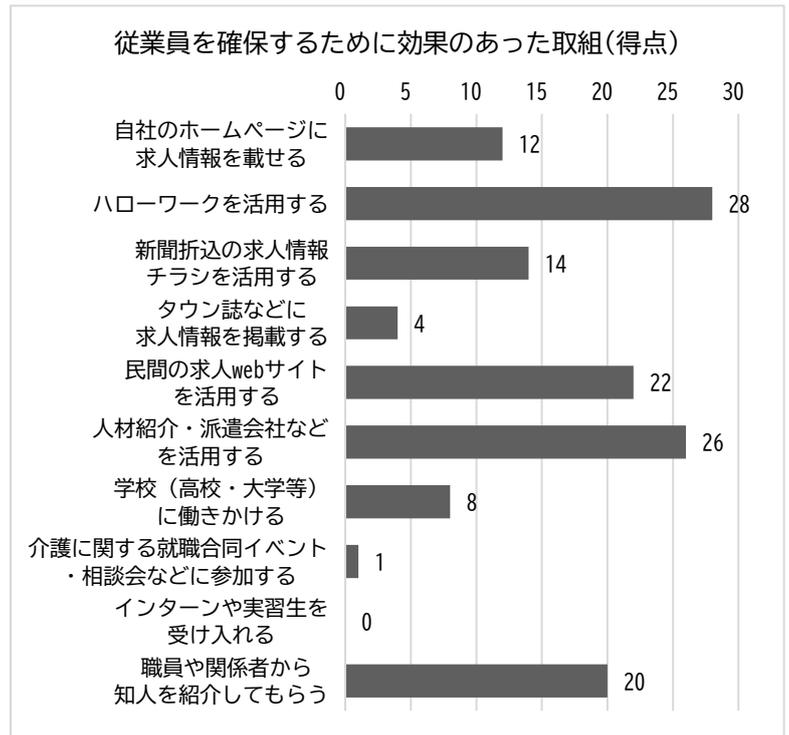
最も効果のあった取組は「人材紹介・派遣会社などを活用する」が7事業所、「民間の求人webサイトを活用する」「職員や関係者から知人を紹介してもらおう」が共に5事業所、2番目に効果があった取組は「ハローワークを活用する」が6事業所、「自社のホームページに求人情報を載せる」が4事業所、「民間の求人webサイトを活用する」が3事業所、3番目に効果があった取組は「自社のホームページに求人情報を載せる」「ハローワークを活用する」が共に4事業所となっています。



従業員を確保する取組を(最も効果があったと回答した事業所数×3)+(2番目に効果があったと回答した事業所数×2)+(3目に効果があったと回答した事業所数×1)として得点化。

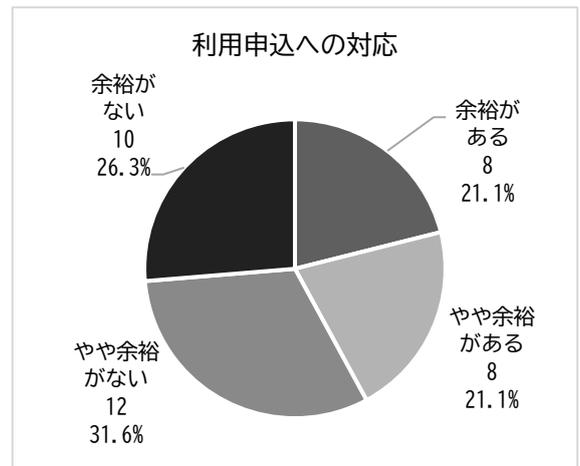
得点が高く、効果が高いと思われる取組は

1. ハローワークを活用する
28点
 2. 人材紹介・派遣会社などを活用する
26点
 3. 民間の求人webサイトを活用する
22点
 4. 職員や関係者から知人を紹介してもらう
20点
- の順になっています。



問9 貴事業所の利用者からの利用申込への対応はどうか

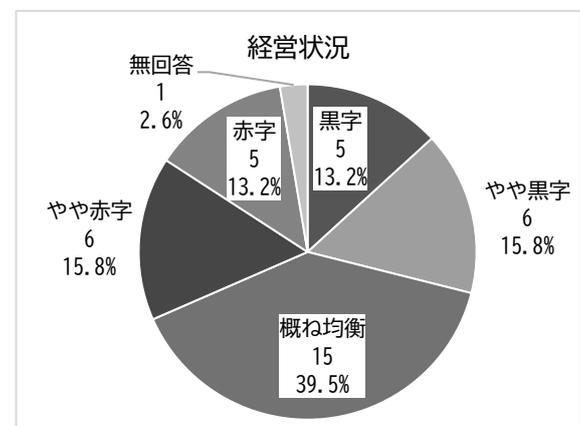
「余裕がある」「やや余裕がある」は共に8事業所(21.1%)、「やや余裕がない」は12事業所(31.6%)、「余裕がない」は10事業所(26.3%)となっています。

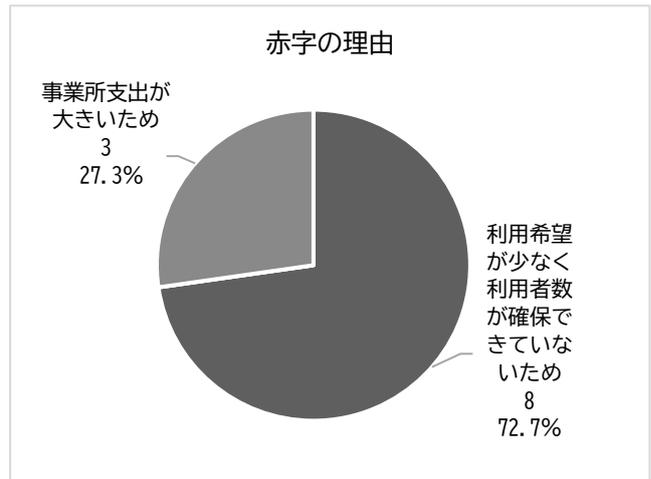
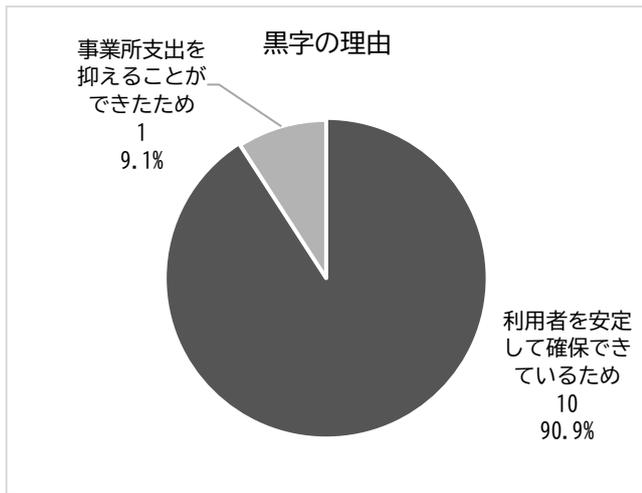


問10 貴事業所の経営状況はいかがですか

「黒字」5事業所(13.2%)、「やや黒字」6事業所(15.8%)を合わせた黒字が11事業所(29.0%)、「概ね均衡」が15事業所(39.5%)、「やや赤字」6事業所(15.8%)、「赤字」5事業所(13.2%)を合わせた赤字が11事業所(29.0%)となっています。

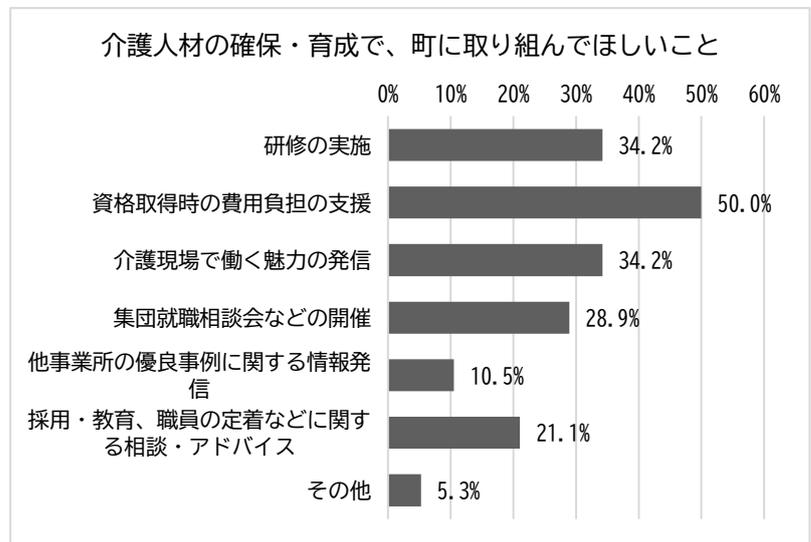
黒字の理由は「利用者を安定して確保できているため」が10事業所(90.9%)、「事業所支出を抑えることができたため」が1事業所(9.1%)、赤字の理由は「利用希望が少なく利用者数が確保できていないため」が8事業所(72.7%)、「事業所支出が大きいため」が3事業所(27.3%)となっています。





問 11 介護人材の確保・育成で、どのようなことを町に取り組んでほしいですか

「資格取得時の費用負担の支援」が19事業所(50.0%)でもっとも多く、「研修の実施」「介護現場で働く魅力の発信」が共に13事業所(34.2%)、「集団就職相談会などの開催」が11事業所(28.9%)、「採用・教育、職員の定着などに関する相談・アドバイス」が8事業所(21.1%)の順になっています。



問 12 第 9 期介護保険事業計画期間中の、貴事業所の事業運営の方向性についてお答えください

	実施していない		実施している			
	能勢町内に事業所を新しく開設することを検討している	能勢町外に事業所を新しく開設することを検討している	増、人員の増など)	現在の事業所の事業を充実させる(定員の増、人員の増など)	現状を維持する	縮小する
訪問介護	-	-	2	4	-	-
訪問入浴介護	-	-	-	3	-	-
訪問看護	-	-	6	2	-	-
訪問リハビリ	-	-	1	3	-	-
居宅療養管理指導	-	-	-	2	1	-
通所介護(地域密着型含む)	-	-	2	4	-	-
通所リハビリ	-	-	1	1	1	-
短期入所サービス	-	-	1	5	-	-
特定施設入居者生活介護	-	-	-	2	-	-
福祉用具貸与	-	1	2	3	-	-
福祉用具販売	-	1	2	3	-	-
居宅介護支援	-	1	6	9	1	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	1	3	-	-
夜間対応型訪問介護	-	-	1	2	-	-
認知症対応型通所介護	-	-	1	2	-	-
小規模多機能型居宅介護	-	-	1	2	-	-
認知症高齢者グループホーム	-	-	1	2	-	-
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)	1	-	-	2	-	-
特別養護老人ホーム(地域密着型含む)	1	-	1	5	-	-
介護老人保健施設	-	-	-	2	1	-
訪問型サービス(総合事業)	-	-	-	3	-	-
通所型サービス(総合事業)	-	-	2	5	1	-

能勢町内に事業所を新しく開設することを検討している事業所は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)」「特別養護老人ホーム(地域密着型含む)」が各1事業所、能勢町外に事業所を新しく開設することを検討している事業所は「福祉用具貸与」「福祉用具販売」「居宅介護支援」が各1事業所になっています。

また、事業縮小を検討している事業所は「居宅療養管理指導」「通所リハビリ」「居宅介護支援」「介護老人保健施設」「通所型サービス(総合事業)」が各1事業所になっています。

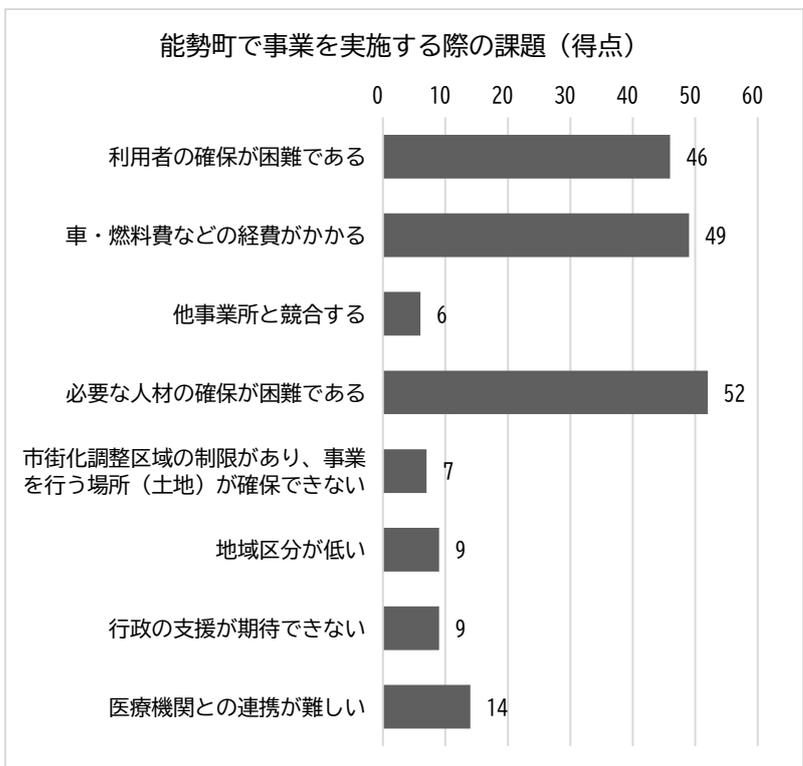
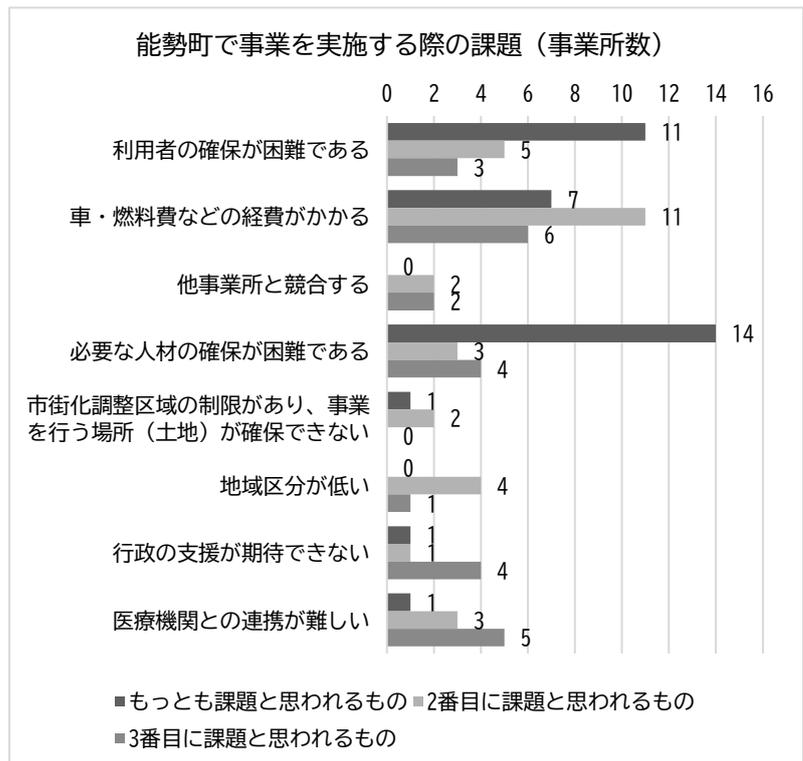
問 13 能勢町で事業を実施する際の課題は何ですか

「もっとも課題と思われるもの」は「必要な人材の確保が困難である」が14事業所でもっとも多く、「利用者の確保が困難である」が11事業所、「車・燃料費などの経費がかかる」が7事業所、「2番目に課題と思われるもの」は「車・燃料費などの経費がかかる」が11事業所でもっとも多く、「利用者の確保が困難である」が5事業所、「地域区分が低い」が4事業所、「3番目に課題と思われるもの」は「車・燃料費などの経費がかかる」が6事業所でもっとも多く、「医療機関との連携が難しい」が5事業所、「必要な人材の確保が困難である」「行政の支援が期待できない」が共に4事業所の順になっています。

能勢町で事業を実施する際に(もっとも課題と思われるもの)と回答した事業所数×3)+(2番目に課題と思われるもの)と回答した事業所数×2)+(3番目に課題と思われるもの)と回答した事業所数×1)として得点化。

もっとも得点の高い課題は

1. 必要な人材の確保が困難である
52点
 2. 車・燃料費などの経費がかかる
49点
 3. 利用者の確保が困難である
46点
- の順になっています。

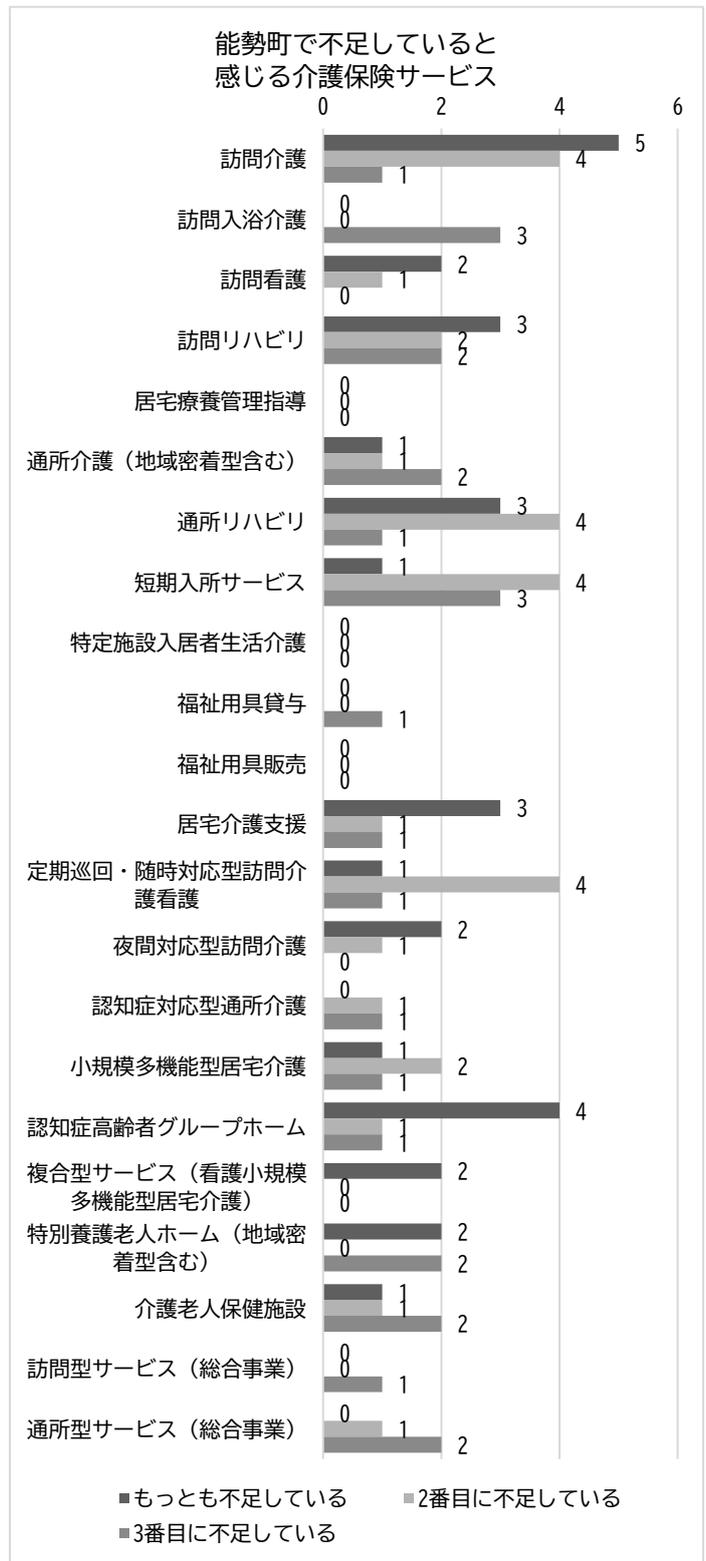


問 14 能勢町で不足していると感じる介護保険サービスは何ですか

「もっとも不足している」と回答のあったサービスは「訪問介護」が5事業所でもっとも多く、「認知症高齢者グループホーム」が4事業所、「訪問リハビリ」「通所リハビリ」「居宅介護支援」が共に3事業所、

「2番目に不足している」と回答のあったサービスは「訪問介護」「通所リハビリ」「短期入所サービス」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が共に4事業所、

「3番目に不足している」と回答のあったサービスは「訪問入浴介護」「短期入所サービス」が共に3事業所の順になっています。



(最も不足していると回答した事業所数×3)
 +(2番目に不足している回答した事業所数×2)
 +(3目に不足している回答した事業所数×1)と
 して各サービスの不足度を得点化。

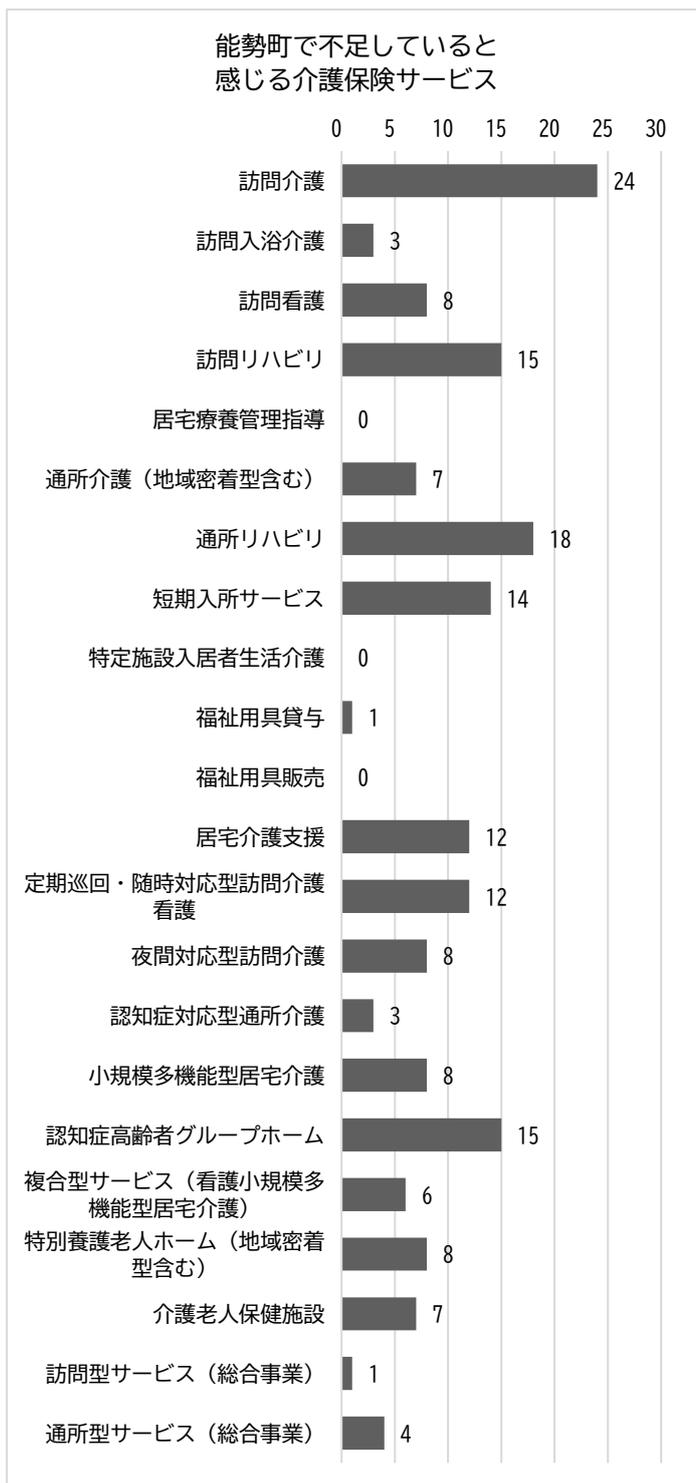
得点の高い介護保険サービスを見ると、事業所が不足していると感じる介護サービスは

1. 訪問介護 24点
2. 通所リハビリ 18点
3. 訪問リハビリ 15点

認知症高齢者グループホーム 15点

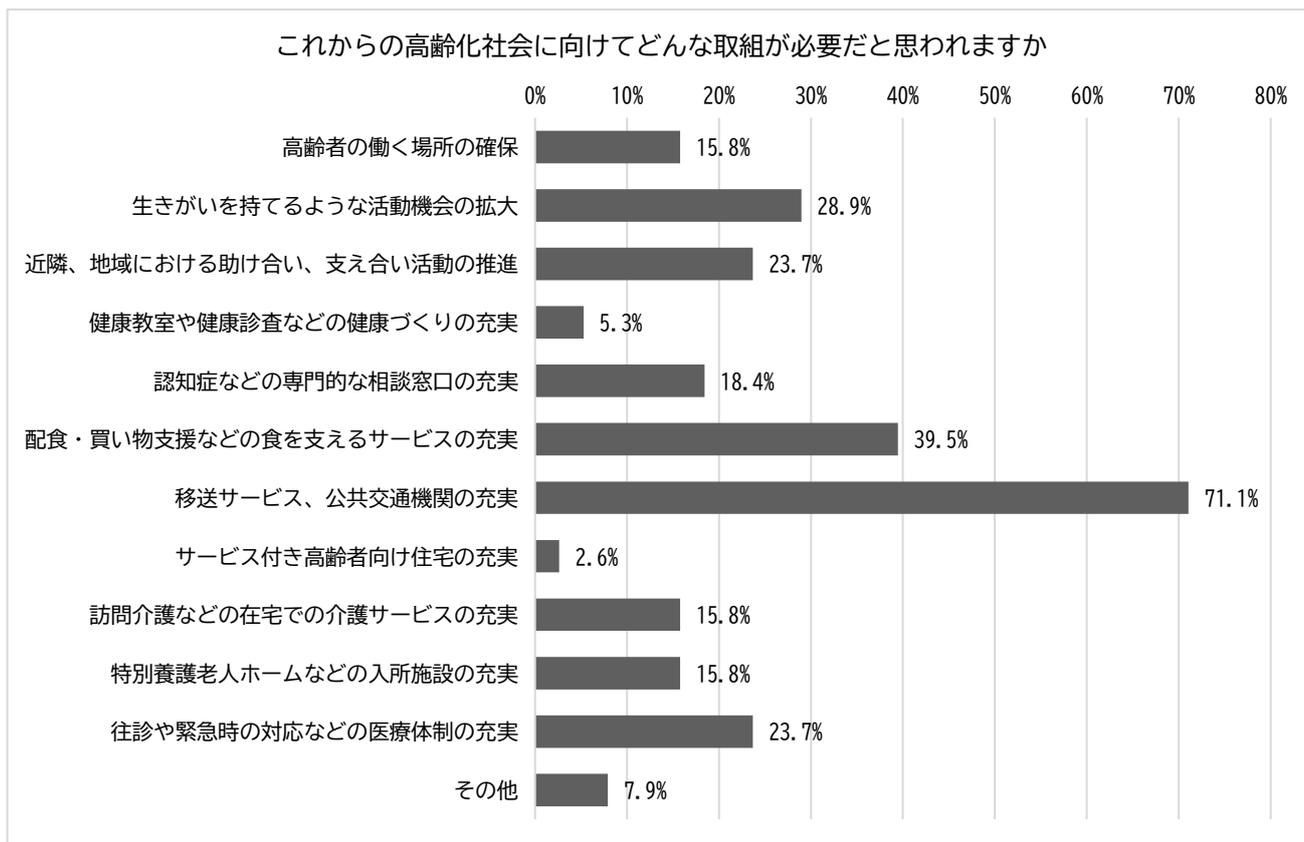
4. 短期入所サービス 14点

の順になっています。



問 15 これからの高齢化社会に向けてどんな取組が必要だと思われますか

「移送サービス、公共交通機関の充実」が 27 事業所(71.1%)でもっとも多く、「配食・買い物支援などの食を支えるサービスの充実」が15事業所(39.5%)、「生きがいを持てるような活動機会の拡大」が11事業所(28.9%)、「近隣、地域における助け合い、支え合い活動の推進」「往診や緊急時の対応などの医療体制の充実」が共に9事業所(23.7%)の順になっています。



問 16 その他、貴事業所が事業を運営していくにあたりご意見、町への要望等がありましたらご記入ください

- 数年後、町内の居宅介護支援の従事者が高齢化とともに引退していく。その時の受け入れ先、介護難民が出ることがないように仕組みを考えてほしい。一人暮らしが継続困難になった時、事業所の問題と放置せず、事業所支援をお願いしたい。訪問介護、介護支援専門員の公務員化…等？
- 町内、町外からの事業所が新たに参入できるよう事業所への支援。競合することによってサービスの向上を維持。
- バスやタクシーなど、交通機関の充実が必要だと思います。
- 能勢町から引き継ぎ(ケアマネ)相談が入ることがあるが、施設入所を希望してこちらへ来られる方が多く感じられる。町内で利用者が望むサービスを、まかなえるようにできないのかと思うことがある。また、身寄りのないケースや、親族間で関係性の良くないケースも多い印象があり、進んで受け入れようと思いがにくい。
- 短期入所サービスの安定した運営のため補助の拡大。
- 新規利用者の動向や他事業所の利用状況などが知りたい。
- 地域にいるケアマネが地域密着型の通所介護の存在を軽視していると思う。体験数が少なく利用者選択をすすめられていないと思う。